

駒澤大学1-3拓殖大学

今季最多の3失点 課題が浮き彫りに...

決勝弾を浴び、肩を落とすイレブン (撮影:佐藤 亮)

今季初の黒星、無敗逃す

雨が降りしきり、グラウンドコンディションが悪い中で行われた今節は、試合開始わずか4分にして拓大に先制点を挙げられた。会場のざわめきに対し駒大も、小牟田がもらったファールに「練習通りだった。入って良かった」と碓井が話すように、田中のフェイントから碓井が落ち着いて蹴り、ボールは直接拓大ゴールに突き刺さり同点に追いつく。その後も小牟田を中心に競り合い、ボールを奪いチャンスを作るが得点に繋げることは出来ずに前半を折り返す。

迎えた後半、拓大の攻撃にルーキーのGK積田がナイスセーブを連発し耐えるも80分、積田が一度弾いたボールを再度押し込まれ、またもリードを許す展開に。「キーパーが取りに行こうとしたのか中途半端になっていた。しかし最後に詰めたのは拓大。その差だ」と秋田監督が口にするように、最後まで守りきるスタミナと集中力は昨季からの課題でもある。また、86分、宮城に変えて菊池を投入しなんとか点を取りたい駒大だが、さらに87分には、今節2回の警告を受けた湯澤にレッドカードを提示させられるという最悪の状況が訪れる。

残りわずかのところではまさかの失点。それでも果敢にゴールに攻めるがあと一步のところでは及ばない場面が続き、試合終了のホイッスルが鳴った。攻撃の起点を作る田中は「いつも改善しようとしているところを改善出来ていないから負ける」と今節の一番の敗因を話す。また、「競ったボールを拾えず、そこで攻撃が終わってしまった」と課題点を話す小牟田は、今節は競り合いに勝つ場面が多く十分な存在感を見せていた。しかし、なかなかシュートを打つことはなくFWとしての仕事にも課題が残る。

リーグ戦開幕から5節目を迎えた今節、首位との勝ち点差はわずか5。どのチームもまだまだ巻き返しの図れるところにいるが、「前期のうちに6位か7位までにはつきたい。それ以上話されるときつい」と秋田監督が話すようにこれ以上ランクを落とさないためには、しっかり勝ち点3を取ることに限られる。どんな状況でも駒大らしいプレースタイルを徹底し、「下を向いてしまうと厳しい。負けたことは仕方ない。それを反省してやるかやらないかが大事」と秋田監督が語るように、気持ちを切り替え、次節朝鮮大戦では多くの課題を修正し、攻撃陣がいかに相手ゴールまでボールを運べるか、そしてシュートまで辿り着けるか。その姿勢に注目したい。(射手真矢)

5月3日 13:50 法政大学城山グラウンド

駒大 1 (1-1) 3 拓大
(5位) (0-2) (6位)

得点者(アシスト)

[駒] 36分 碓井
[拓] 4分 内野
[拓] 80分 木野
[拓] 90分 長沢

KOMAZAWA

GK⑩積田景介(1)
DF⑩大木 暁(2)
DF④三澤祥馬(4)
DF②⑨糸井康裕(3)
DF③田中雄一(3)
MF⑤宮城雅史(4)
(86分)①菊池将太(1)
MF⑧碓井鉄平(3)
MF⑦⑪小牧成亘(2)
(67分)⑩磯部裕基(2)
MF⑪湯澤洋介(4)
FW⑦⑫中村 駿 (1)
(58分)⑭板倉直紀(2)
FW⑫小牟田洋佑(2)

S U B

GK①大石健太 (3)
DF②友廣壮希(3)
DF⑥若山瞭太 (3)
DF③⑨奥田陸(2)

MANAGER
秋田浩一

TAKUSHOKU

GK⑫大坪倫之(3)
DF⑮板橋龍也(4)
DF⑭⑯菊野太紀(2)
DF③村島雄三(4)
DF⑥大橋康史(4)
MF⑧菅能将也(2)
MF⑫⑬柴田隆太郎(2)
MF⑦⑪木野大輔(3)
(82分)⑫加藤 幹(2)
MF⑯長沢康平(3)
FW⑩⑪内野裕太 (3)
(82分)⑭河野直登(1)
FW⑩⑪西岡梧郎 (2)

S U B

GK①小林将也 (2)
DF⑤金子代祐(2)
MF③④紙谷大志(2)
MF③④小野俊樹(3)
FW⑤⑥永島友貴(3)

MANAGER
宮崎純一

[シュート]11:12 [GK]7:14 [CK]9:2 [直接FK]17:17
[間接FK]2:1 [オフサイド]3:2 [PK]1:0 [主審]細尾 基 [観衆]約 250人

警告(C)/退場(S)

[駒]66分湯澤洋介(C) [拓]6分長沢康平(C)
[駒]87分湯澤洋介(C) [拓]27分柴田隆太郎(C)
[駒]87分湯澤洋介(S)